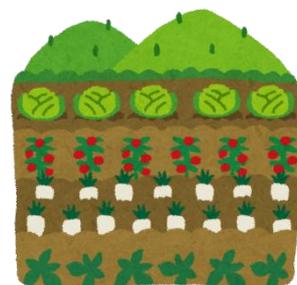


「家庭菜園にチャレンジしよう」 (中学校技術分野)

～先生方へ～

新学習指導要領に示された技術分野の目標の中に、「実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成する」という記述があります。休校期間が延長している今はもちろん、学校再開後も自宅で過ごす時間が増えることが予想されます。このような状況の中、よりよい生活を構築しようと活動することは、生活や社会の中の技術に関わる問題について考えたり、技術を工夫し創造しようとするにつながつたりするでしょう。これは、技術・家庭科の本質的な学びであり、このような状況だからこそ、学べることがあると考えます。

今回は、生物育成の技術の内容の一つである、家庭菜園への取り組みに関するプリントを制作しました。それぞれの環境に応じて、1～7について調べたり考えたりしながら実践することは、生物育成の技術に関する知識・技能の習得はもちろん、社会や生活、環境との関わりについての理解、情報収集力の育成、問題解決能力の育成にもつながると考えます。ホームページだけでなく、教科書やつくる生活技術の活用もヒントとして記したので、全生徒が無理なく学習でき、授業にもつなげやすいのではないかと思います。



～保護者・生徒のみなさんへ～

休校期間が長く続いている今はもちろん、学校再開後も自宅で過ごす時間が長くなることが予想されます。技術・家庭科は、よりよい生活を実現するために、体験的な活動を通して学ぶ教科です。ぜひ、技術・家庭科の学びを生かして、生活を充実させてください。

今回は、技術分野の内容の一つである、生物育成の家庭菜園への取り組みをプリントにしてみました。家庭菜園というと、「広い土地がないと無理じゃないか」「難しくて一般の人ではできないのではないかと」考える人もいると思います。畑での栽培はもちろんですが、作物によっては、プランターを使ってベランダで行うことも可能など、それぞれの環境に応じて取り組むことができます。道具や材料などは、通信販売やホームセンターなどで簡単に手に入ります。実際に調べたり、ホームセンターに行ってみたりすると、その種類の豊富さに驚かされると思います。道具や材料などを見たり触れたりしてみると、アイデアが思い浮かんだり、意欲がわいてきたりすることでしょう。また、暖かくなってきたこの時期は、育てられる作物の種類がとても豊富です。自分が求める作物を決め、実際に育ててみてください。愛情を込めて手入れした作物が育っていくのは、何とも言えない楽しさと達成感があります。ぜひ、この機会に家庭菜園にチャレンジしてみてください。



家庭菜園にチャレンジしよう

1. 作物

ピーマン ナス トマト
リーフレタス ヒマワリ

まずは、育てる作物を決めましょう。教科書P146～147や、ホームページなどを参考にしましょう。この時期から始められる作物は、たくさんあります！

2. 栽培方法

露地（畑）
容器（鉢、プランターなど）

それぞれの環境に合わせて、栽培方法を決めましょう。畑がなくても大丈夫。ホームセンターなどには、家庭菜園が手軽に始められるセットも売っています。

3. 準備

土 肥料（有機質・無機質）
道具（支柱、移植ごてなど）

作物や栽培方法について調べていると、必要なものがわかってきます。難易度の高い、土づくりから始める方法だけでなく培養土などを使って手軽にできる方法もあります。

4. たねまき～定植

たねまき → 間引き → 育苗
→ 苗の植えつけ（定植）

作物や時期、環境によって、たねまきから始めるのか苗から育てるのか変わってきます。教科書P152～153を参考にしてみましょう。

5. 手入れ

かん水（水やり） 除草
追肥 病虫害の防除

作物をしょうぶに育てるには、適切な管理が必要です。適切な管理をするには、日ごろの観察が重要です。つくる生活技術P85～87には、作物の変化を記録するところがあります。

6. 収穫と保存

葉 茎 根 果実
採種（たねとり）

食用として利用する作物は、種類によって収穫時期が異なります。作物によっては、完熟後にたねをとって保存しておくことで次の栽培に利用することができます。

7. 収穫後の管理

資材の再利用と廃棄
土の再利用

次の栽培や環境に配慮して、資材や土の管理をします。資材は適切に保管したり、安城市や地域で決められた方法で廃棄したりします。



発芽したとき、開花したとき、収穫したときなどの喜びは、何とも言えない達成感と喜びがあります。自宅で過ごす時間が長い今、ぜひ、家庭菜園にチャレンジしてみてください！！